



同友会の活動はこちらのQRコードからご覧いただけます。



2021年 3月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



共同求人部会設置による「第2回社会連携シンポジウム(全三回)」が開催されています。

# 学校・仕事・地域社会をつなぐ

## 第2回社会連携シンポジウム(オンライン)

共同求人部会設置による「第2回社会連携シンポジウム(全三回)」が開催されています。今期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から「Zoom」によるオンラインセッションにて企画。実行委員会には共同求人部会のメンバーはもちろん、教育機関の先生方にも加わっていただき、双方が意見を出し合って内容やプログラムなどを検討してきました。

現在、全三回のうち二回目まで終了。新しい学習指導要領に基づいてスタートした「社会に開かれた教育課程」の具体像を探るため、各回ともに教育機関側から県内各地の高校教諭や大学・短大関係者など約二〇名、企業側から経営者・幹部社員など約四〇名、総勢約六〇名が参加しました。第一回は十二月九日(水)、「どうつながる?学校と企業の連携」高校におけるインターシッップを事例として、「をテーマに、第二回は一月二十日(水)、「学校の学び、企業の学び」学校だけが学びの場じゃない」を

テーマに開催。いずれも文部科学省初等中等教育局教育課程課・飯塚氏がコーディネーターを務め、教育機関側二名・企業側二名によるパネルディスカッションやグループディスカッションを通して、それぞれの立場から率直に意見を交わしました。

参加者アンケートには「教育機関と企業が交流を深めることは大変有意義。互いに忌憚らない意見を出し合えて良かった」「私達経営者は地域の若者に対して何ができるのかを改めて考えさせられた」「学校と企業が連携することで主体的に学ぶことのできる人材を育てていきたい」「シンポジウムの輪を拡げることと課題解決の仕組みづくりが大切」などの感想や意見が綴られていました。第三回は三月十七日(水)、「学校と企業、協働への模索」社会



に開かれた教育課程実現のために」をテーマに開催予定。第三回からの参加も大歓迎です。共同求人部会では、今後も様々なアプローチで教育機関との協力体制を築き、地域社会が連携して若者を育てる活動を進めていきます。ぜひ多くの皆様のご協力をお願いします!

# 会社が元気になる障害者雇用

## 高崎支部・障害者雇用委員会合同例会

一月二十五日(月)、Gメツセ群馬(Zoom併用)を会場に「高崎支部・障害者雇用委員会合同例会」を開催。「会社が元気になる障害者雇用」なぜ中小企業が障害者雇用に取り組むのか？」をテーマに、専門家による支援制度の概要説明や実際に雇用している企業のパネルディスカッションなどから学び合いました。

①制度を知る「支援制度の概要」では、精神保健福祉社・神尾美樹氏(ハローワーク高崎)に講師を依頼。障害者雇用の準備段階から職場定着までの一貫した支援のコミュニケーションを示すなどして、中小企業が使える各種助成制度と相談窓口について解説いただきました。

②事例を知る「パネルディスカッション」では、本多障害者雇用委員長(合同会社ユリア)がコーディネーターを務め、(株)ナカダイ・越知氏(前橋支部)、(株)ヒルズ伊勢崎・石原氏(富岡安中支部)、ケルン(株)乗附氏(同)のパネラー三名が、雇用に至る経緯や会社の変化、今後の課題などをそれぞれの視点で紹介。「障害の有無ではなく自社に合う人材を雇用することが大切」「多様性を受け入れる企業文化



の醸成。それが強い組織づくりにつながる」「自社の仕事内容を改めて見直し、障害者のできる仕事を切り出すことから始めてほしい」などの言葉が語られました。

パネルディスカッション終了後は「障害者雇用に取り組むメリット」をテーマにグループ討論を実施。「今では当社に欠かせない戦力として活躍している」「企業風土の変化。共に育つ組織になっていく」「難しいけど簡単、簡単だけど難しい。まずはトライすることが大事」など、様々な視点から活発な意見が交わされました。また、オブザーバーとして参加された支援機関や特別支援学校の先生方から直接、貴重なアドバイスをいただきました。

# 業界の生きた情報を交流!

## 伊勢崎支部1月例会



一月十九日(火)、「参加者全員の近況報告会」会員同士だから話せる業界の生きた情報を交流」をテーマに、伊勢崎支部1月例会をオンライン(Zoom)開催。コロナ禍における各社の影響や対策、今後の経営戦略などを交流し合いました。

参加者には「事前準備シート」を例会に先駆けて配付。各自が「主たる事業内容」「二〇二〇年の業界および自社の状況」「二〇二一年の業界および自社の予測」「新年の抱負」を整理した状態で例会に臨み、与えられた持ち時間(約五分)を使って全員が発表しました。厳しい状況を表わす言葉も多々あった反面、新分野への進出や事業領域の見直し、クラウドファンディングへの挑戦などの取り組みも紹介され、前向きに経営している様子が伝わりました。

参加者からは「外出自粛要請のなか、生きた情報が得られる貴重な機会だった」「業界によって影響は様々であり、今後に向けてのヒントが得られた」「各社ともに弛みない経営努力を行っているのが刺激になった」「皆さんの事業内容が良く分かり、仕事でも繋がれる可能性が見えた」などの感想が聞かれました。

# 社員の多様性を活かすために

富岡安中支部1月例会



一月二十一日(木)、富岡商工会議所会館(＋オンライン)を会場に開催された富岡安中支部例会では、前橋高等特別支援学校の後藤範雄先生をゲスト報告者に迎えました。

「社員の多様性を活かすためのワンポイントアドバイス」と題して後藤氏は、はじめに専門アドバイザーとしての立場から、最近の若者の特徴や、障害の中でも主に発達障害について解説。

一月二十一日(木)、富岡商工会議所会館(＋オンライン)を会場に開催された富岡安中支部例会では、前橋高等特別支援学校の後藤範雄先生をゲスト報告者に迎えました。

「誰にでも特性的な部分はあるし、誰でもちょっととした不具合はある。つまり障害とは、こうした凸凹のことなんです。融通が利かなかつたり、感情的だつたり、コミュニケーションが苦手だつたり、不器用だつたり。これらは程度の差はあれ、誰にだつてあるのです」という言葉に、誰もが傾きながら耳を傾けていました。

## 働き方改革と働き方改革関連法

沼田支部1月例会

沼田支部では、一月二十六日(火)、利根沼田文化会館を会場に支部例会を開催。群馬県働き方改革アドバイザーの資格を持つ、ブランケット社会保険労務士・行政書士事務所、所長・金井雄吾氏(渋川吾妻支部)が、

「働き方改革を残業削減や休日を増やすことだと思っていま

から報告をスタートした金井氏は、働き方改革の目的を「働く方の置かれた個々の事情に応じ、多用な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持つるようにすること」。働き方改革関連法の目的を「働き方改革の取り組み方に正解はないが、少なくともこの部分は改善すべき箇所」と解説し、残業規制や同一労働・同一賃金など具体策が叫ばれる働き方改革関連法は、働き方を改革するための「手段」であり目的ではないことを説明しました。



さらに、日本の人口減少が恒常的な人材不足をもたらし、生産性向上が今以上に求められるといった、改革が必要になった背景を紹介。今後は限られた人的・時間的資源でいかに大きな成果が出せるかが重要で「働き方改革は、働く人それぞれの特徴を最大限發揮する人材戦略と成り得る」と訴えました。



後半では、働き方改革関連法の項目(有給休暇の確実な取得、残業時間の上限規制、同一労働・同一賃金など)を事例を交えて解説しながら参加企業へ注意を促しました。

参加者アンケートには「同一労働・同一賃金は難しい。もっと勉強しなければ」「わかつていらない情報が多さに驚いた」「働き方改革、生産性向上は追い続けるテーマだと感じた」といった感想が綴られていました。

※詳細は「群馬県働き方改革実践ガイド(制作に金井氏も携わっています)」をご覧ください。発行/群馬県産業経済部 労働政策課 女性・若者就職支援室

# 就業規則を見直しませんか

前橋支部1月例会



前橋支部では一月十九日(火)、同友会事務局(ZOOM併用)を会場に支部例会を開催。「就業規則を見直しませんか?」就業規則から考える、人を生かす経営」と題して、パネリスト・金井氏(富岡安中支部/経営労働部会副会長)、ブラケット社会保険労務士・行政書士事務所・金井氏(渋川吾妻支部)、(株)ファミリーパートナーズ・八木原氏(前橋支部)の四名。コーディネーターは(株)sk

Yマネジメントコンサルティング・鈴木氏(高崎支部/経営労働部会)が務めました。冒頭、座長兼パネラーの八木原氏は「コロナ禍で在宅勤務やZOOMの普及など、働き方を見直す必要性を感じている。しかし一部の社員はその変化を自分に都合の良いように解釈し、権利のみ主張することがある。経営指針をベースに考えるべきだとは思いますが、範囲が広いので「就業規則」に絞って話をしたい」と、本例会に至る経緯を説明しました。

そのうえで、鈴木氏の進行で「就業規則とは?36協定とは?」

といった専門分野を金井氏が解説。また、パネラー企業での就業規則作成のキッカケや現状、他にはない特徴などを紹介しながら、参加者側に意見も求めつつ「なぜ必要なのか?何が必要なのか?」を深めていきました。「規則という守らなければいけない難しく堅いイメージから、経営者の思いや会社の魅力を社員(特に新入社員)に伝える一つのツールとして作成しても良いのではないか」という意見も出てくるなど、例会が進むほど経営指針と就業規則の関係が近く感じられました。



参加者アンケートには「社内規定の見直しや法令の改定などの情報共有は必要」「理念↓経営指針↓就業規則という流れを作り、評価制度などとリンクさせる会社としての一貫性が大切だと感じた」といった感想が記され、さらに深く掘る例会を希望する声も聞こえてきました。

# 道なき道を切り拓く

桐生支部1月例会

一月二十六日(火)、Zoomを使ったオンラインで「桐生支部1月例会」を開催。有機土壌活性液装置の設計・製造・販売などを手掛ける日本ゼウス工業(株)、常務取締役・田中光太郎氏(桐生支部)が報告者を務め、「道なき道を切り拓く後継者の苦悩と挑戦!」をテーマに

自身の経営体験を語りました。生ゴミから生成される肥料を使ったリサイクルループのモデルケースとして、平成二十五年から本格的な農作物の生産・販売に取り組んできた同社。新規参入にあたって農業技術の未熟さや販路開拓の難しさなど、数多の課題に直面した経験を振り返りました。また、そうした課題を乗り越えるために実践した様々な取り組みを紹介した上で、最後に「理想と現実のギャップは、むしろこれからの伸び代として捉えたい」と前向きに語りました。

アゼリア	一般的なアゼリア
原料	生糞
製造	生糞
品質	生糞
効果	生糞
価格	生糞
取り扱い	生糞
販売	生糞
特徴	生糞

報告後は「経営者として社会にどう関わっていくか?」をテーマにグループ討論を実施。「厳しい経営環境でも会社を守り、雇用を守り、社員の生活を守ること」「SDGsを意識した企業づくりが大事」「日本社会が抱える課題を解決するような事業を構築したい」など、活発な意見が交わされました。

# 恒例の祈願例会を開催

## 太田支部1月例会



太田支部では、一月二十一日(木)、冠稲荷神社を会場に、新年恒例の祈願例会を開催。

二〇二一年の始まりは、いまだ衰えず感染拡大傾向にある新型コロナウイルスの影響を受けながらも、大塚宮司とも相談しZOOMを併用したハイブリッド形式での開催となりました。直接会場に参加した方は、入り口での検温・消毒、マスクの着用、拝殿内でも密を避ける配

置で席を設けるといった感染対策を実施。ZOOMでの参加者は拝殿内を正面から映す映像で現地参加者と同じ目線になるようカメラを配置しました。例年の流れで進行した祈願例会ですが、祈願後の新年会は自粛しあつという間の閉会となりました。

コロナ禍の中、開催自体を取りやめる判断も出来ましたが、開催できる方法を模索し、スタートを切った太田支部。支部会員一丸となってこの難局を乗り切ることを改めて誓う機会となりました。

# 車座トークで理念語り合おう

## 渋川吾妻支部1月例会

一月二十七日(水)にホワイトパークにて開催された渋川吾妻支部例会は、「我が社の理念とその背景」自社の特色、大切にしていることは?」をテーマとして、参加者全員が車座で語り合いました。

一人ひとりがシールドで囲まれ、万全の対策が施された不思議な空間の中、「一人三分で」と申し合わせてスタートしたものの、経営理念とそこに込めら

れた想いを三分で語るには無理がありました。しかしながら「それぞれが何を大切に経営しているのか、全員の考えを一度に聞けて、とても参考になった」との意見が大半でした。



ホワイトパーク内にオープンしたばかりの「アイスワールド」を皆で見学。その美しさに誰もが目を奪われていました。  
(※アイスワールドは現在、緊急事態宣言を考慮し休館中)

アルミ精密部品の切削加工メーカー

## 株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で  
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2  
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059  
URL : http://www.apm-f.com E-mail : fuse@apm-f.com

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせて自由設計、コスト削減 (事務所、店舗、倉庫、他)

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

## 株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2  
TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102  
URL http://kk-sanei.net/

『同友ぐんま (通常号)』 広告募集

【広告料】 2万円 (一口×6回掲載)  
【スペース】 縦44mm×横87mm (一口分)

\*掲載を希望される場合は、同友会事務局までご連絡をお願いいたします

群馬県中小企業家同友会・事務局  
TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666

部品加工の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して  
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が出来ました。  
好評「部品加工のマテハン」

従業員数 12名  
代表取締役 島山 淳  
群馬県太田市矢田堀町351-6  
TEL 0276(37)4571  
FAX 0276(37)4562

URL:http://www.kk-matehan.co.jp/  
E-mail:mth@kk-matehan.co.jp

## 会員企業紹介

わが社の

# イチオシ

# 取扱素材×コロナ＝新規事業



## (株)サンエイ

代表取締役 中西 聡之 氏 (太田支部所属)

# Q & A

### ▼会社紹介

昭和五十年、三栄産業(株)として兵庫県尼崎市にて祖父が立ち上げました。昭和五十五年に群馬工場を設立、平成十九年に業務スリム化のため群馬を本社に(株)サンエイとして新たに創業しました。

事業内容は断熱材・シール材・緩衝材・梱包材など各種発泡体素材の加工販売を行っており、冷蔵ショーケース・業務用冷蔵庫・自動販売機・業務用エアコンや現在話題となっているコロナウイルスワクチン保冷保管用の超低温フリーザーなどの内部断熱用途に当社部品が使用されています。



当社の強みは、オートメーション化が難しい多品種小ロット部品の加工を得意とし、用途や求める機能から素材の提案も行えます。さらに、ISO14001を取得し環境リスク低減と経営の両立を目指すマネジメントを行っています。

### ▼自己紹介

異業種からの転職で十六年が経ち、代表になって六年目となりました。先代が体調を崩してから引継ぎだったため、社長業の右も左も分からず眠れない夜もありました。同友会で勉強するようにになり、どっしり構えられるようになりました。

基本的に人見知りですが、新しいものやクリエイティブなものを探しに出歩くのは好きです。カメラ・エレキギター・ラジコン・ミニ四駆など、機械を触ったり作ったりすることも好きです。

### ▼イチオシPR

フェイスシールド(十個一セット七千五百円) (八千二百五十円) 顔を覆うシールド部はポリカーボネート製で明度が高い・傷や凹みに強い・熱に強い、という特徴があります。加えて顔に当たるパット部が交換可能なので長く清潔に使用することができます。工場・



工事現場などでも飛沫防止出来る様、ヘルメット装着タイプもあります。

マウスシールド(十個一セット二千四百二十円) (三千八百五十円) 群馬県×大泉町とのコラボレーションでサンバぐんまちゃんデザインステッカー付・サイズ調整できるゴムにも装着が簡単・ヘルメットにも装着可能です。

▼PR商品に取り組んだ経緯はコロナ禍において自社でなにか社会貢献ができないか?との思いから、取り扱った素材の組み合わせでフェイスシールドやマウスシールドの作成に取り組みました。

形状や素材、サイズ感などい

くつも試作品を作り、同友会の会員企業様に実際に試していただき、フィードバックを頂いて改良し製品化できました。

▼顧客・取引先からの評価は社会問題に対して、自社で出来ることを考えチャレンジする姿勢を評価していただきました。ですが、社内が一つの目標に対して一致団結し、全員で突き進む一体感を持ったことが一番嬉しい変化でした。

### ▼今後の課題について

中小企業のオリジナル製品はなかなか認知度が向上しません。当社もプレスリリースや、行政とコラボレーションした製品展開、ウェブサイトのリニューアルでSEO対策やネット販売を行うなどしましたが、認知度向上についてはまだまだ検討が必要だと感じます。

今後の展開や拡販したい気持ちとは真逆になります。コロナ対策商品を使わなくてもいい「日常」が戻るとを切に願っています。



所在地 / 邑楽郡大泉町大字古海 736-2  
連絡先 / TEL 0276-63-3611  
URL / <https://www.sanei-oizumi.com/>

# 会員たんしん

同友会のホームページで  
会員検索できます。

## 【地域牽引企業24事業者追加】

石川建設(株)  
三朋企業(株)

経済産業省は22日までに、地域経済成長の中心的な担い手として期待される「地域未来牽引企業」に本県に関わる24事業者を追加選定した。

全国では本県事業者を含む1060事業者が追加選定された。同選定は2017年度から始まり、県内では計99事業者、全国では計4743事業者が選ばれている。

追加選定企業は次の通り(※以下会員企業のみ抜粋)。石川建設(株)(部長・石川訓氏/太田支部所属)、三朋企業(株)(代表取締役・宮石喜康氏/高崎支部所属)

[1 / 23付上毛]

## 【県教委に500万円寄付】

(株)オーケーコーポレーション

新型コロナウイルス感染症対策で、障害がある子どもが使うトイレの蛇口を手動から感知式に変えてもらおうと、養豚業の(株)オーケーコーポレーション(代表取締役・岡部幹雄氏/河川吾妻支部所属)は、県教委に500万円を寄付した。これを受け、県教委は、県立高等特別支援学校を中心に順次交換を進める方針。

県庁で開いた受納式で、同社の妹尾尚樹総務部長は「生徒や先生が少しでも安心して学校生活を送れるよう、衛生環境の向上に役立ててほしい」とあいさつ。目録を受け取った笠原寛県教育長は「医療的ケアが必要な子どもは新型コロナの重症化リスクが高く、感染対策は学校の責務。大きな力になる」と感謝した。

[1 / 26付上毛]

## 【障害者働く植物工場拡大】

(株)成電工業

群馬県高崎市のNPO法人SocialHouse(ソーシャルハウス)は植物工場で作るレタスなどの野菜を増産する。半導体加工などを手掛ける(株)成電工業(代表取締役・瀧澤啓氏/高崎支部所属)のグループ団体で、2021年3月に県内で2棟目となる植物工場を稼働させる。植物工場は赤字の事業者も多いなか、「農福連携」で事業拡大を図る考えだ。

ソーシャルハウスは、一般就労が難しい障害者が働く「就労継続支援B型」の福祉事業所だ。知的障害者を中心として受け入れており、13年の設立以来、植物工場で作るレタスやベビーリーフを生産している。障害者が生産に携わった野菜の販売収入に加え、国から障害者の就労支援サービスに対する報酬を得ている。

今回、新たに作った施設は県南部の藤岡市にある。利用する障害者の定員は20人から順次、増やしていく。すでに建物は完成しており、21年3月から障害者の受け入れと野菜生産を始める。

[1 / 27付日経]

## 【高崎卸商社街共同組合と協定】

新島学園短期大学

県内の経済活性化や人材育成に向けて協力しようと高崎卸商社街共同組合と新島学園短期大学(学長・岩田雅明氏/高崎支部所属)は8日、高崎市の同短大で連携協定を結んだ。学生に対する県内企業への理解を深める取り組みなどで連携する。

締結式で岩田学長は「インターンシップなどで学外での体験型プログラムに力を入れていきたい」、杉浦理事長は「連携を深めて、少しでも学生に卸売業を知ってもらいたい」とそれぞれ話した。

[2 / 9付上毛]

## 【結婚式場でランチを】

(株)五洲園(アメイジンググレイス前橋)

結婚式場「アメイジンググレイス前橋」(株)五洲園、代表取締役・萩原隆史氏/前橋支部所属)は、チャペル下の邸宅にカフェを開設した。結婚式で腕を振るうシェフが手作りしたランチやスイーツが味わえる。

英国の邸宅をイメージした落ち着いた雰囲気店内で食事

を提供。サラダやキッシュ、オードブル2種類を盛り合わせたワンプレートランチ(1,320円)や、オリジナルレシピの2種類のカレーランチ(1,100円)、お子様プレート(660円)などをドリンク付きで用意する。

式場では昨年5月からスイーツの販売を開始。ランチもテークアウトもできる。

営業時間は午前11時~午後4時。営業日は木~日曜と祝日。問い合わせはカフェ直通(090-1428-6097)か、式場(027-210-7722)へ。

[2 / 10付上毛]

## 【次世代人材 地域から】

共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学(学長・大森昭生氏/前橋支部所属)が「ここでしかできない学び」に磨きをかけている。群馬県内に拠点を置く企業や自治体と協力し、県全体をキャンパスに見立てて、地域の未来を担う学生と一緒に育てる。この「地学一体」を鮮明にしたプログラムが2018年4月に始まった「グローバルオナーズ」だ。

グローバル人材の育成は全コースに及び、学び方もユニークだ。例えば、学生たちは大学に通う代わりに4カ月間、前橋市役所や地元企業に勤務する。限界集落に向いたり、特産品の商品開発にたずさわったりして地域の課題を見つけ、解決策を提案・企画し、実践していく。

19年度入学者のうち群馬県内出身者は88%、18年度の県内に就職した卒業生は70%。「地域の未来、私がつくる」のキャッチフレーズはデータも物語ってきた。

[2 / 10付日経]

## 【群馬の名所一枚の絵に】

四季の宿 晴観荘

宿泊客らに明るいきらびになってもらおうと、渋川市伊香保町の旅館「晴観荘」(四季の宿 晴観荘、代表取締役・茶木茂直氏/前橋支部所属)は、館内に県内全域の観光名所などを描いた絵を展示し、楽しませている。

同旅館と交流のある前橋市の画家、筑井孝子さんが「訪れた人に少しでも喜んでもらえるといい」と手掛けた。1階ロビーの喫茶コーナーに面した障子7枚をキャンバスに取り換え、伊香保温泉を中心に、草津温泉や富岡製糸場、臨江閣などの名所、高崎だるまをはじめとする名産、おきりこみといった名物を明るい色合いで描いた。館内のシャッターもキャンバスに見立てた。

茶木社長は「特にお子さま連れのお客さまに喜んでいただいている。県外の方には群馬の見どころをPRできる」と話す。地域の人にも気軽に鑑賞してほしいと呼び掛けている。

[2 / 16付上毛]

## 【こんにゃく使ってハンバーグ】

茂木食品工業(株)

こんにゃくメーカーの茂木食品工業(株)(代表取締役・茂木進氏/富岡安中支部所属)は、完全菜食主義者(ビーガン)などが好む「代替肉」の商品開発に力を入れる。動物性の肉由来の成分を極力使わず、大豆やこんにゃくなどを練り込んで作る。こんにゃくの需要が低迷するなか、メーカーの新たな挑戦に注目が集まる。

同社は今春、代替肉で3種類目となるハンバーグ・パティの販売を始める。大豆やおから、こんにゃく粉などを原料にした。ひき肉などで作った通常のハンバーグ・パティに似た食感や味わいだが、動物性由来の成分は一切使っていない。

完全菜食主義者が食べられるのみならず、カロリーの低さが持ち味だ。1個(約90g)あたり100kcalほどと、通常品の半分程度に抑えたという。同社の茂木大悟経営戦略室長は「ヘルシー志向の女性層に販売を見込める」と期待を寄せる。

[2 / 17付日経]

## 【会員登録変更】

(株)ベリテック、代表取締役・井澤年宏氏(高崎支部所属)は、この度、「取締役・日下部嘉彦氏」に会員登録を変更しました。

## 【代表取締役就任】

(株)ヒルズ伊勢崎、専務取締役・石原秀樹氏(富岡安中支部所属)は、この度、「代表取締役」に就任しました。

第10回  
**理事会報告**

日時 二月二日(火)

※今回も同友会事務所とオンライン併用のハイブリッド開催となりました。

出席者(順不同・敬称略)  
正副代表理事/山岸、澤浦、田村、提著、町田、常任理事/戸塚、吉池、布施、本多、周藤、海老沼、小林、阿久戸、星野、佐藤、理事/杉崎、齋藤、阿久戸、神保、渡辺、小鮎、関口、浅井、事務局/黒岩、阿久澤、竹内(役員計二十三名)

【議事】

太田支部の渡辺氏が議長をつとめ、山岸代表理事挨拶のもと、第十回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の案内報告  
共育部会・共同求人部会・経営労働部会・青年部会・女性部(仮)準備会の各組織担当者より、案内報告等がありました。

2. その他

三月に福島で開催される第五十一回中小企業問題全国研究会の案内がありました。

II. 審議・承認事項

1. 役員選考について  
布施青年部会長より、過日の部会で新年度の部会長候補に内諾が得られたことから再提案があり、理事会として信任しました。

2. 定時総会の開催について  
定時総会の概要について総務会から日時・会場・講師について提案があり、これを承認しました。

3. 新年度スローガン案・重点方針案についての検討  
総務会からのたたき台をもとに、新年度のスローガン案・重点方針案について、グループ討論で率直に意見を出し合いました。

出された意見をふまえ、新旧総務会でまとめ直し、次回再提案されることとなりました。

4. 入退会者承認と仲間づくり推進について  
前回理事会以降の入会者三名、退会者一名を承認。会員数は五三〇名となりました。

III. 意見交換・その他

1. 第十一回理事会の開催確認  
次回理事会を左記の通り開催することを確認しました。

■日時/三月二日(火)  
■会場/同友会事務所  
+ウエブ(併用)

新会員  
ご紹介

2月度常任理事会承認  
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

(株)自主管理経営



代表取締役  
羽鳥 博 樹  
S33年生

〒370-0013 高崎市萩原町486-7  
TEL: 080-5033-8447  
FAX: 027-386-6236  
中小企業経営の支援  
マラソン、トライアスロン  
【紹介者/事務局】

中小企業を対象に「強みのない(平凡な会社)を10倍速で成長させる」経営の仕組みのコンサルパッケージ導入支援がメイン業務です。社員が仕事と会社と社長が大好きで自分から全力で頑張る、自由で明るい令和の「愛社精神」創造を目指しています。本拠地はさいたま新都心ですが、高崎が自宅事務所です。設立7期目、社員数12名。

(株)ホシノ



専務取締役  
星 野 仁 彦  
S62年生

〒370-0341 太田市新田金井町128-1  
TEL: 0276-57-0555  
FAX: 0276-57-4203  
一般貨物自動車運送業、一般貸切旅客自動車運送業  
読書、スポーツ(サッカー)、ランニング  
【紹介者/事務局】

群馬県の公立高校の教員として9年間勤務したのちに、後を継ぐために自社に入社しました。当社は貨物運送、旅客運送をさせていただいております。同友会のみならず積極的に情報交換させていただき、経営について色々学ばせていただきたいと思っております。

高崎支部

太田支部

限りある資源を、次世代へ  
**株式会社 エステイビー**  
Stability Topline Business Co.,Ltd. Zero Emission

産業廃棄物収集運搬  
産業廃棄物リサイクルの提案  
一般貨物自動車運送  
塗装プラント清掃

〒379-2123  
前橋市山王町1-19-14  
TEL 027-212-3312  
FAX 027-266-8288  
http://www.s-t-b.jp

今お使いの会計ソフトを  
「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!

クラウド予算実績管理ツール

**YOJITSU**  
https://yojitsu.net/

同友会 株式会社 エスプラ ☎ 0120-638-377  
高崎支部会員

環境を思う、未来を想う  
あらためて誓う  
**上武印刷**

優れた環境適応性。  
より高精度で美しい仕上がり  
「水なし印刷」システム  
「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有害な廃液を0にし、その結果CO<sub>2</sub>を削減します。環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。

ムダな廃棄物を出さない。  
必要な時に必要な部数を  
**オンデマンド印刷**  
オンデマンド印刷は、「必要な時、必要なだけ」の印刷でムダがなく、環境面で優れています。また、印刷コストを抑え、納期も短縮できます。

私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。

群馬県環境GS認定事業所



**上武印刷株式会社**

〒370-0015 高崎市島野町890-25

TEL 027(352)7445(代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp  
FAX 027(352)2953(営業) URL http://www.jp-t.co.jp/

